

賞 長 局 税 国 島 広

「幸せな世界をつくるために」

出雲市立平田中学校 三年 木佐 美紅

かったマ
スク生活、



われるのなら、私はそれはど
ても良いことだと思います。

私が今、満足に勉強したり、

自由の制

私はこれから、「税は払わな

安心安全に生活をしていくこ

限、出来な

ければならない」という意識

とができてきているのは「税」のお

くなくなった

から「私が納税をする」こと

かげです。体調が悪くなった

ことも数多くありました。そ

うプラスの意識に変えていき

り病気にかかったときに十分

んななか、アベノマスクやワ

たいと思います。税金がある

な治療が出来ること。綺麗に

提供されました。私たちが

からこそ国は成り立ち、幸せ

舗装された道路を通って毎日

日々払っていた税金が、日本

を感じる事ができる。ある

学校に通えること。勉強に必

のピンチのときに誰もに使わ

いは、「当たり前」と感じるお

要な教科書や机、椅子が用意

れていることを感じ、とても

だよかな日常が守られていま

されていること。そして今の

感動しました。毎回きちんと

す。税金がどのように使われ、

コロナ禍によって生活してい

皆が税を払っていたからこそ、

私たちの日常の中のどこに隠

くことが困難になった人への

コロナ禍の状況でも手を取り

れているのか、興味を持って

支援や給付金。「税」は全員が

合ってこのような政策をとる

調べてみようと思いました。

助け合い、誰もが幸せに生き

ることができたのだと思います。

税金は今日も、今このとき

るためにあるのだと思います。

消費税が8%から10%に上

も集められ、そして使われて

「税金」と聞いて私が一番身

がり、賛否両論ありますが、上

います。

近に感じるのはやはり、お店

がったその1%の税がこうし

誰もが幸せな世界をつくる

で物を買った際に払う「消費

税」です。小さいときは「税を

ために。

う未知のウイルスにおびやか

され、今まで考えたこともな